

I. 平成30年度 第4回 新河岸川流域川づくり連絡会 議事要旨

平成31年3月12日(火) 清瀬市 清瀬けやきホール セミナーハウス

I. 平成30年度 第3回新河岸川流域川づくり連絡会議事要旨

平成30年度第3回新河岸川流域川づくり連絡会議事要旨が承認された。

II. 新河岸川流域川づくり連絡会活動協議事項

1. 前回議事の対応

- ・ しんぶん里川が荒川下流河川事務所HPで公開されたら、連絡会メーリングリストにて周知する。
- ・ 里川88号の特集テーマは、清瀬市の要所紹介とした。

2. 平成30年度新河岸川流域川づくり連絡会の活動を振り返って

■主な意見など

〈現地見学会について〉

- ・ 現地見学会時に、イヤホンガイドのような機材があると有効である。

〈交流会について〉

- ・ 展示会場のスペースが狭かった。もう少し広ければ、説明者をパネルの前に配置しても動線を妨げない。
- ・ 紙芝居を子供たちがしっかりと聞いており、有効であったと思われる。

3. 2019年度新河岸川流域川づくり連絡会の活動に向けて

■主な意見など

〈勉強会〉

- ・ 川ゴミの話に詳しい全国川ゴミネットワークの発起人を講演者として呼べるとよい。

〈発表会開催地〉

- ・ 2020年度の開催候補地に新座市・黒目川とあるが、新座市が力を入れているのは野火止用水である。新座市に限らず、野火止用水に関わる自治体との共催なども考えられるとよい。

■決まったこと

- ・ 次年度連絡会は試行的に年3回を予定し、発表会企画の進捗に応じて、適宜追加で開催する。
- ・ 次年度は東大和市を開催地とし、空堀川を主な対象河川とする。

III. 勉強会 (テーマ: 流域住民へのWEBアンケート結果の共有と今後の方針)

2月に事務局が実施した流域住民を対象として、いい川づくりに関する意識調査を行った。結果の説明を踏まえ、新河岸川流域水循環マスタープランの策定に合わせて、連絡会で取り組むべきことについて、意見交換を行った。

■主な意見など

(1) アンケートの実施方法について

- ・ アンケートの選択肢が、ネガティブなもの(水害が不安だ等)から順になっている場合とそうでない場合があるため、今回は揃えたほうがよい。

(2) しんぶん里川について

- ・ 認知度が低いことが気になる。流域住民に周知できる工夫が必要である。
- ・ 周知において、荒川下流河川事務所のHPへのハイパーリンクを流域内自治体のHPに載せていただくことが有効かと思われる。
- ・ 紙媒体だということに抵抗感を感じているかもしれない。文章量が多くアイストップが少ないもののように思えるため、改善する必要がある。
- ・ しんぶん里川は流域内の学校に掲示してもらっているが、ほかのポスター等との入れ替えがあるため、学校に掲示されている期間が短く生徒の記憶に残らないのではないか。

(3) 水防災意識醸成に関する取り組みについて

- ・ 水防災意識の醸成については、行政が主体となって動いてもらうのがよいと思う。総合治水協議会等に本アンケートの結果を共有して、働きかけを行うのがよい。
- ・ 小学生高学年は野外学習等で色々学ぶ機会が多い。その中で、川の説明も交えながら、防災のことをしっかり教えられるとよい。また、防災に詳しい方をリスト化すれば、学校も取り組みやすい。
- ・ 小学校で防災訓練を実施しているが、子どもや保護者が一人も参加していなかった。
- ・ 自治体も水防災に関してやるべきこと悩んでいるものと思う。今後、自治体と共同で勉強していかなくていけないことを整理する必要がある。
- ・ 川まつりで土嚢づくり体験などをするなど、楽しみながら学べる企画があるとよい。
- ・ 水防災に関する広報や防災意識の醸成は行政だけでなく、市民も共同で実施していく問題のため、意見交換会を行いながら、やるべきことを議論できるとよい。

IV. その他

- ・ 次回連絡会は5月下旬に、東大和市内の公共施設で開催する予定とする。